

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37752	
事業名	IT産業人材確保支援費						
評価担当課	所属名	経)経済戦略推イノベーション					
	課長名	吉田 泰斗	担当者名	有城 賢二	電話番号	211-2379	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	新卒採用者やUIJターンによる中途採用者の増加、および外国人材確保による安定的な人材供給。 ※事業目標:事業を通じたIT産業への内定数(累計)⇒2022年度までで20人				
		長期	安定的な人材の確保によるIT産業の持続的な発展および、高度IT人材の還流による既存人材の能力向上を目指す。				
	取組内容	市内IT産業の慢性的な労働力不足に対し、IT人材の市外転出抑制および首都圏からの人材の還流を目的とした人材確保支援を実施。 ①UIJターンフェア ②道内学生に向けたIT企業就職フェア ③高度IT外国人材確保・定着に向けた支援					
実施結果	UIJターンフェアでは、道外のIT技術者を対象とし、札幌への移住希望者向けイベントを合計5回開催し、出展企業合計31社、現地参加23名、視聴者数合計2257名。 学生IT企業就職フェアでは、市内学生を対象に企業の本音を聞きながら就職活動を進めるイベントを合計6回開催し、参加企業合計33社、参加者合計286名、視聴者数合計215名。 高度IT外国人材支援では、市内IT外国人材のコミュニティ形成、セミナー等を合計31回開催、参加企業合計13社、参加者合計17名、視聴者数合計587名、83名のコミュニティ形成に寄与。						
事業実施における工夫点	コロナ禍での開催でオンラインでの就職イベントが乱立する中、運営・企画に学生を取り込むことで、満足度の高い企画を実施できた。						
対象者	新卒学生、首都圏等在住ITエンジニア、高度IT外国人材			開始	平成28年度	終了	令和3年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	沖縄市「デジタル人材UIJターン支援事業」						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	7,742	8,000	7,795	0	
うち特定財源	3,871	3,871	3,871	0	
人工	0.4	0.4	0.4	0.0	
人件費	2,880	2,880	2,880	0	
計(事業費+人件費)	10,622	10,880	10,675	0	
事業費の内訳	令和3年度決算	■普通旅費 54千円 ■運営委託費 7741千円			
	令和4年度予算	終了			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	事業を通じたIT産業への内定数(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	8	15	8	20	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	令和3年度本業務を通じて、各種イベントには就職、転職希望者、高度IT外国人材において、延べ3385名の参加及び視聴があり、採用を希望する出展企業延べ77社の人材確保の取組を支援することができたが、成果指標の達成に寄与できなかったため。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	コロナ禍でオンライン開催を主流とし、年間を通じて各種企画を複数回開催した(UIJ5回、学生向け6回、外国人材向け31回)。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	本業務の実施に当たっては、雇用に関する専門知識等が求められることから公募型企画競争により受託者を決定した。これにより、受託者の有するノウハウを生かすとともに、本市への移住を推進する任意団体との連携による企画運営を行うなど、効率的・効果的に事業を実施できた。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	B	学生就職フェアのアンケートでは、企業側とのコミュニケーションが取れる形式で、他では聞けない情報が聞けた等の意見があり、参加者の9割が「満足」と回答。UIJターンフェアについても、首都圏で開催した企業側の生の声を聴くことができたオフラインイベントがとても好評で毎月でも開催してほしいとの声があった。IT外国人材支援については、人材側のコミュニティ支援には繋がったものの、IT企業での外国人活用普及促進にはあまり繋がらなかった。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	コロナ禍でオンラインイベントを余儀なくされてしまうため、事業全体の実施を見直す。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	本事業を見直して、高度IT人材確保支援のための補助事業を創設することとした。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	学生フェアやUIJターン移住希望者に対する、市内IT企業への就職支援として一定の効果がある事業ではあったが、オンラインイベントでは、直接的な効果が数値としては見えなく、指標の達成には寄与できなかったため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 人材育成の事業と統合して実施することで、より効果的な事業実施を行う。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 令和4年度に見直した補助制度が企業側からのニーズがあることから、予算を拡充する。		見直し効果額	10,000 千円